

椰子の木影で残敵退治
(海南島にて)



日伯子モ新聞

日伯新聞附録
伯國聖市マエストロ
カルデシ街一〇九
(ヴエルグロニ二五八)
發行所 日伯新聞社
【毎週回發行】

輝く事じく報變はよし書告

日本偉大な力に リマ少佐舌を巻く

七月いよいよブラジルへ歸國



親子が一緒に

日本語勉強

大別山中で兵隊さんが先生
にっぽんごべんきやう

アイウエオ 新店日語學校

李秀蘭
けいりん

スイグレード
リマ少佐は
ブラジル國の觀
戦武官として北
中南支と全體統
を半年に亘り觀
察をされました。
一旦日本に
歸國後、四
年をまつて、今年七月にい
よ／／ラジルへ歸つて来る
ことになりましたが、少佐は
少佐は日本軍の
事變史を出版、一方また陸軍
大學や士官學校の聯隊などで
「支那事變と日本」と題する
講演をされる者です。少佐は
中南支と全體統
帝國ホテルでのやうな觀察
談をされました。

私は金支の戰線をくまなく
観察しましたが、日本軍の
が、まん強さに驚きました。

今度の支那事變で日本軍の大勝した原因是、日本軍の
駆くべき行軍力と舟をこし
たり、河を泳いで渡る渡河
觀および敵前上陸の偉大な
力であります。外國の兵隊は、
行軍力は演習の時で一日
強大二十四キロ、戦争のと
きはせいぜい十キロ位です。

私はいま筆の中の本の題の
さんも兄さんも一緒に先生格で
の阿部五郎軍曹（宮城県原
郡尾松村出身）から「アイウ
エオ」の五十音表、「日の丸」
の遊戲、習字などを一生懸命
に教はつてゐるところなど、
到底内地にみられる面白い學
校です。

支那の少年、少女たるに日本
語を教へながら日本の姿を教
は大喜びで「宣傳工作」といふ
のはまづ日本語學校をつくつて
支那の少年、少女たるに日本
語を教へながら日本の姿を教
は新店の街に買物でかける
と少年、少女たちが私の姿を
みつけて元氣よくおはやうと
よびかけます。（新店支那
の子供の書いたアイウエオ）

やうに支那は近いうちに四
分五裂になるでしょう。すな
はち日本と力を合せて生れ
る新しい支那と、にくむべき共産主義の支那と、英國
（しゃいんはリマ少佐）

や米國の尻押しで海の息を
ついでゐる荷政權の波濤支
那などに分れるでしょう。
（自転車は一八一六年、今
から百二十餘年前、イギリ
スでダンディ・ホースといふ
二輪車が發明されたのが初
まりです。）

てゐます。晴天がつよいと
水がなくなると土人はこれ
をきてのんだり家畜に與
へたりします。

（自転車は一八一六年、今
から百二十餘年前、イギリ
スでダンディ・ホースといふ
二輪車が發明されたのが初
まりです。）

やうに支那は近いうちに四
分五裂になるでしょう。すな
はち日本と力を合せて生れ
る新しい支那と、にくむべき
（しゃいんはリマ少佐）

見送り中田ナ子

毛シリ先生

秋風に吹かれて
ホームに立つ私らは
淋しい心がいつぱい
汽車がうござ
ハンカチをふつた
ホームが白くさわめいた

その時 母さんの目に
涙がいつぱいだつたけな。



軍馬のお話

下 安倍季雄

物いはぬ勇士

牛はのろくしてゐるが、さながら、戰場をさまよつてゐるのを見ると、兵隊さん達は、たまたくなつてくるさうです。

南京攻撃の時、つきはなさ

算術

相富春 織田一誠

〔算三〕

〔ミリメートル〕

①上ノ線ノ長サヲモノサシズ、ヨクハカツガラン。

3 cmダラウカ?

4 cmダラウカ?

ミナサンハ今マデ=(cm)デ、モノノ長サヲハカルコトヲナラヒマシタシカシ(cm)ダケデ、モノノ長サヲコマカク、正シカハカル=ハ便利ノワリイ時ガアリマス。上ノ線ノ長サヲハカツテ見テカルデセウ。

②1 cmヨリ纏カイ長サヲハカルニハ「ミリメートル」ヲカヒマス、「ミリメートル」ハmmト書キマス。

③1 cmヲ十等分シタ長サガ1 mmデス。(等分一同ヨウニ分ケルコト)

④モノサシノ1 cmノ目ヲサラニ、コマカク等分シタ目ヲシラベナサイ。

⑤1 mmハ1 cmノ何分ノ一アクリマスカ。

⑥1 emハ1 mmノ何倍デスカ。

⑦サツキハカツタ線ノ長サハ何「センチメートル」ト何「ミリメートル」デスカ。

⑧3 cmト7 mmヲ「センチ」7「ミリ」トイヒマス。

⑨3 cmト7 mmヲ37 mmトモイヒマス。ナゼデセウ?

⑩本ナ練習帳ヤ、ソノホカアマリ長ク*

ナイモノヲ、モノサシデハカツテ見テーツーツ長サヲ書キトリ。ニサシヤネエサンニ見テイタマキナサイ

〔算四〕

〔小數ノ寄算、引算〕

例

$$\begin{array}{r} 5.4 \\ + 0.4 \\ \hline 5.8 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 36.7 \\ + 3.2 \\ \hline 39.9 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.5 \\ + 0.2 \\ \hline 0.7 \end{array}$$

$$8.5 - 4.5 = 4$$

$$\begin{array}{r} 5.9 \\ - 0.8 \\ \hline 5.1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 45.4 \\ - 4.2 \\ \hline 41.2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 81.5 \\ - 4.5 \\ \hline 77.0 \end{array}$$

$$(4.0 = 4)$$

⑪上ノ例ヲ見ルトドレモ小數點ガソロツチキルデセウ。一番初メノ寄算ノ5ガ點縫ヨリ左ニアルコトニ氣ラツケナサイ。

又オシマヒノ8.5-4.5=4ノ意味ガワカリマスカ。

⑫計算ノ仕方ハ今マデノ寄算、引算ト同ジコトデス。

*ミナサンガ計算スル時ニハ上ノヨウナ點縫ハツケナインデス。

問題

(1) 15.4+2.5 4.6-1.6 0.3+2

(2) 10.3 cm+2.5 cm

(3) 28.8 kg-2.4 kg

(4) 2.4 mノヒモカラ30 cmキリト

ツツカツタ。ヒモハ何メート

ルニナツカ。

次回ノ=〔算四〕=解答ヲ出シマス

○ヤギトオホカミ

二、ウルブ

手工教室

(1) 斜の点縫部は山に折ります。そして横の一本を谷に折りまして(2)のやうになります。

(3) 表の点縫部を向ふ側へ左折ります。これが右共折り込みます。これが裏の縫つてある一枚をこ

(4) 裏の縫つてある「ウルブ」の羽になります。右共折り込みます。これが裏の縫つて、首の上方を少し折り

(5) 外側に向けて鳥のくちばしになります。「ウルブ」のくちばしに

しをつくるやうにして、兩脚をつくります。

(6)これを前の方へ二つに折り

つて、首の上方を少し折り

たします。

「ウルブ」のくちばしに

たします。

活動寫眞

（笑）（ひ）（話）

（眞）（眞）（眞）

（眞）（眞）（眞）